

令和 3 年度 入札監視委員会議事概要

沖縄防衛局

開催日及び場所	令和 3 年 1 0 月 4 日 (月) 於：海上自衛隊那覇航空基地隊
委員	矢吹 哲哉(委員長：琉球大学名誉教授) 堤 純一郎(琉球大学名誉教授) (五十音順) 仲里 豪 (弁護士) 原田 泰人(公認会計士) 山城 勝 (元沖縄県経営者協会常務理事)

I 沖縄防衛局が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 6 月 3 0 日	
審議対象件数	4 0 件	
1. 入札状況について (入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	6 件	(審議概要)
建設工事	一般競争	5 件
	指名競争	0 件
	随意契約	1 件
建設コンサルタント業務等	0 件	
	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>【契約状況・指名停止状況・低入札価格調査状況について】</p> <p>特になし</p> <p>【抽出事案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工事 随意契約方式 沖縄基地隊 (2 補) 舟艇庫新設 建築追加工事 ● この案件は前工事の発注時点から後工事を予定していたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事の発注の段階で予算不足であることが判明したため、前工事の入札公告と同時に後工事に関する公示を行ったたうえで、一般競争入札を行ったものである。

- 予算不足のため後工事となったとのことだが、複数年度にかけて予算確保することはできないのか。
- 予算は複数年度確保したが、それでも不足であったため後工事の発注が必要となった。
- 後工事は前工事の契約不適合責任を継承すること等から他の業者は手を上げにくいと思うが、随意契約にした場合、前工事で低い金額で落札して、後工事の見積合わせの時に高い金額を入れてくるようなことはないのか。
- 後工事の予定価格の積算において、前工事の落札率を掛けることになっている。
受注者は前工事の段階でそれを承知しており、後工事において金額をつり上げるようなことはできない制度となっている。

**一般競争入札方式
沖繩基地隊（2補）舟艇庫新設
土木工事**

- 5者参加申請があり、4者が入札辞退となっているが、辞退の理由は何か。
また、今回、落札者の評価点等から、施工に問題はないと考えられるが、仮に極端に技術評価点が低い者が落札することとなった場合でも、工事の施工に問題はないのか。
- 入札辞退理由について参加者各者にヒアリングを行ったところ、同時期に公告されていた他の工事を落札し、配置予定監理技術者が配置できなくなったため辞退したというのが主な理由であった。
また、技術評価点が低い者が落札したとしても、今回必要な参加資格を満たした者であれば、施工能力等には特に問題はないと思われる。
- 工事の内容が多岐に渡っているように見受けられ、受注者1者で全て施工するのは厳しいように思われるが、外部発注、下請けの採用等についてはどの程度の割合まで認められているのか。
- 下請けの採用割合については特に要件はない。
競争参加資格として、工事を施工するのに適合した資格及び施工実績等を要件としており、競争参加資格があるということで問題なく施工できると思われる。
- 地方自治体等では、一括再委託、下請けの禁止や基準が仕様書等に記載されていたと思うが、国の工事では法律上はどのように規制されているのか。
- 公共工事では一括下請けは建設業法、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律で禁止されている。
なお、発注者は受注者から提出される施工体制台帳等により下請負契約等の施工体制を確認することとしている。

一般競争入札方式

石垣島（3）宿舎新設建築工事
（その1）

石垣島（3）宿舎新設建築工事
（その2）

● 工事概要から、（その1）では、宿舎がA及びB 2棟となっているが、（その2）では1棟のみである。（その1）ではなぜ2棟の施工としたのか。

● 無効が2者となっているが、どういう状況だったのか。

一般競争入札方式

シュワブ（R 3）擁壁工事
（2工区）

● 参加者のうち最終的に残った2者について、配置予定技術者の能力に関する評価点に点差があるが、要因は何か。

● 評価点の内訳で、施工体制評価点が加算されているのが、入札額が予定価格範囲内の2者のみとなっているが、これはどういう場合に加算されるのか。

一般競争入札方式

シュワブ（R 3）埋立追加工事
（1工区）

○ 宿舎AとBは廊下でつながっており、実態としては1つの棟を施工するものである。

○ どちらも調査基準価格以下の入札であり、施工体制確認資料の提出を辞退したため無効となった。

○ 当局で実施される総合評価落札方式では、沖縄県内の公共工事で優秀な工事实績のある技術者に点数が加算される評価方法が採られており、落札者の技術者の方が特に国の工事で優秀な工事实績が多かったためである。

○ 施工体制評価点は、入札額が予定価格を超過した場合は付与しない。また、入札額が調査基準価格を下回る場合は施工体制確認資料の提出があればその内容により0点から30点までの点数が付与される。

調査基準価格以上、予定価格の制限の範囲内の者については、原則として満点を付与されることとなっており、評価の基準は入札説明書に示されている。

	<p>● 入札としては問題ないと思われるが1点確認したい。 競争参加者が建設共同企業体の場合、入札に参加する企業体の代表者及び構成員の全てが同様の参加資格を有しなければならないのか。</p>	<p>○ 本工事は、入札公告において、防衛省競争参加資格の土木一式工事の経営事項評価数値が単体又は共同企業体の代表者は1,200点以上、代表者以外の構成員は830点以上であることとしている。また、施工実績として、代表者には埋立数量12万m³以上の海洋埋立工の施工実績を有することとしているのに対し、構成員には土量1万m³以上の土工を施工した実績を有することとしている。</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>		
<p>2. 談合疑義案件の処理状況について</p>			
	<p>談 合 疑 義 件 数</p>	<p>0 件</p>	<p>(審議概要)</p>
<p>工</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>事</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>業</p>	<p>談 合 情 報</p>	<p>0 件</p>	
<p>務</p>	<p>点 検 結 果 疑 義</p>	<p>0 件</p>	
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>意 見 ・ 質 問</p> <p>なし</p>	<p>回 答</p>	
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>		

3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）

<p>審 議 概 要</p>	<p>令和2年度1/四半期～4/四半期分に関する建設工事及び建設コンサルタント業務に係る入札方式別の落札率、応札率、一者応札、一者応募及び一位不動等の状況について説明を行った。</p>			
<p>●委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>意 見 ・ 質 問</p>	<p>回 答</p>		
	<p>● 令和2年度は第1四半期の契約件数が過去数年と比較して多く、それに伴い入札参加者数も多くなっていると見受けられる。競争性等の確保のため、今後も早期発注、一括審査の利用、競争参加向上型の試行等、発注方法の工夫等に努められたい。</p> <p>● 一者応札または、低入札調査を受けて受注することとなった工事、業務の品質確保について、後追いで履行状況の調査等を行っているのか。 完成後に契約不適合があった、損害賠償請求を行った等問題があったことはないのか。</p>	<p>○ 低入札調査により受注した業務について、履行にあたっては十分に注意しながら進めていくこととしている。完成検査・完了検査を行って、特に問題になるものはなかった。 また、一者応札について、今後も発注方法等の検証を行い、次回の入札は入札参加者数が増えるよう可能な限り参加者の増加に努めていくところである。</p>		
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>			

4. 再苦情処理（再説明請求回答）

<p>再苦情申立件数 (再説明請求件数)</p>		<p>総件数 0件</p>	<p>(備考)</p>		
<p>建設 工事</p>	<p>一般競争（政府調達協定対象外）</p>	<p>0件</p>			
	<p>指名競争</p>	<p>0件</p>			
	<p>随意契約</p>	<p>0件</p>			
<p>建設コンサルタント業務等※</p>		<p>0件</p>			
<p>再苦情申立概要</p>		<p>申立日</p>	<p>件 名</p>	<p>契約方式</p>	<p>内容等</p>

(再説明請求概要)		
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	なし	なし
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

令和3年度 沖縄防衛局入札監視委員会議事概要（海上自衛隊）

開催日及び場所	令和3年10月4日（月）於：海上自衛隊那覇航空基地隊
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） （五十音順） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元沖縄県経営者協会常務理事）

I 海上自衛隊が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
審議対象案件	6件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
	抽出件数	2件
建設工事	一般競争	2件
	随意契約	0件
	意見・質問	回答
●委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	一般競争入札方式 沖縄海洋観測所浄化槽等補修 ● 県内・県外で参加資格のある業者は何社くらいあるか。また、前回も1社応札か。 ● 塗装や補修の周期は決まっているか。 ● 米海軍ホワイトビーチの下水処理場を新設する工事と関連はあるか。 一般競争入札方式 沖縄海洋観測所局舎その他屋根補修	○ 県内外含め数は把握していない。前回実績は平成28年度であり2社の応札があった。 ○ 周期はなく、点検時に確認された不具合箇所を補修している。 ○ 関連はない。

	意見・質問	回答
	<ul style="list-style-type: none"> ● 6社のうち1社のみが予定価格に達しているのはなぜか。 ● 落札者の入札金額は、他の会社と比較して安くなっているが、工事の実施に不具合はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予定価格については、官側積算と業者参考見積を比較し、安価であった落札業者の参考見積を採用した。結果として、落札業者とその他の業者の入札金額に差が生じたものと考えている。 ○ 適正に実施されており不具合はない。

令和3年度 沖縄防衛局入札監視委員会議事概要（海上自衛隊）

開催日及び場所	令和3年10月4日（月）於：海上自衛隊那覇航空基地隊
委員	矢吹 哲哉（委員長：琉球大学名誉教授） 堤 純一郎（琉球大学名誉教授） （五十音順） 仲里 豪（弁護士） 原田 泰人（公認会計士） 山城 勝（元沖縄県経営者協会常務理事）

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
審議対象案件	1, 067件

1. 入札状況について（入札参加者の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
	抽出件数	4件
地方調達等	一般競争	2件
	指名競争	0件
	随意契約	2件
	意見・質問	回答
●委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争】 件名：沖縄基地隊具志川送信所の草刈</p> <p>●入札順位書において入札金額欄と決定欄の金額が違うのは消費税の差ということか。</p> <p>●役務の成果はどのように確認し、完成検査合格の判定基準は何か。</p> <p>●毎回入札参加業者は変わらないのか。</p> <p>●入札参加業者にシルバー派遣人材センターもあるか。</p>	<p>○そのとおりである。</p> <p>○作業前、作業後の記録を残し確認している。合格の判定基準は、仕様書の作業内容に示すとおり、刈り高3cm程度で刈り込みにムラがないことである。</p> <p>○概ね変わらない。</p> <p>○ない。</p>

意見・質問	回答
<p>【随意契約（公募）】 件名：えい船92号定期検査</p> <p>●見積書3件の流れはどのような経緯か。</p> <p>●公募条件に記載のある「佐世保警備区内」及び「所属部隊所在地から履行場所まで半日以内で回航できる」範囲はどこか。</p> <p>●落札業者以外にも条件を満たす会社はあるか。</p> <p>●変更契約の内容は何か。</p> <p>●えい船とは何か。</p> <p>●えい船操舵室の屋根に装備されている2個の赤い突起物は何か。</p> <p>【一般競争】 件名：#519建物泡タンク等及び泡消火薬剤の更新</p> <p>●ここ最近米軍のPFOS関連のニュースをよく見るが、その影響を受けてのものか。</p> <p>●入っていたPFOS含有薬剤の処理はどうしたのか。</p>	<p>○公募による見積合わせであり、1回目、2回目と予定価格に達していなかったため、3回目の札を入れてもらい、そこで予定価格に達したため契約決定したものである。</p> <p>○「佐世保警備区内」とは概ね九州北側から沖縄までであり、「所属部隊所在地から履行場所まで半日以内で回航できる」範囲は沖縄本島全域である。</p> <p>○1社ある。</p> <p>○元契約における分解等で判明した不具合で、部品の交換等が必要と認められるものに対し変更契約を実施している。</p> <p>○大型船の出入港時に支援するものである。</p> <p>○放水銃である。</p> <p>○そのようなことはない。</p> <p>○別契約で処分した。</p>

意見・質問	回答
<p>●減額の変更契約の理由は何か。</p> <p>【随意契約（公募）】 件名：那覇地球局設備の民間委託整備</p> <p>●地球局の業務内容とは何か。</p> <p>●契約相手以外の業者は参加しているのか。(株)エム・シー・シーは継続して落札しているのか。</p> <p>●点検項目にソフトウェアはなく、ハードのみか。</p> <p>●定期点検の周期に記載されているアルファベットの意味は何か。</p> <p>●本件は随意契約の部類に入るのか。</p> <p>●契約希望者募集要項の公示は入札公告とは違うのか。公示しているのになぜ随意契約なのか。</p> <p>●特許や技術面の関係で競争性がないのであれば、随意契約によることとし、公示せずに随意契約とすればよいのではないか。</p> <p>●募集要項にはないが、特約条項を結ぶタイミングはいつか。</p>	<p>○空自那覇基地で同種役務完了後の泡発砲試験中に、配管から泡が敷地外へ漏出したことを受け、本役務における配管の確認作業を実施するため、泡放射試験を取り止めたものである。</p> <p>○地球局の業務は、Xバンドの通信維持を主としている。本件は、その整備を委託するものである。</p> <p>○過去(株)エム・シー・シー1社である。</p> <p>○そのとおりである。ソフトウェアは別の部署が別の契約を締結し整備している。</p> <p>○D＝毎日、M＝月、Q＝四半期、S＝半年、A＝年間、の意味である。</p> <p>○そのとおりである。</p> <p>○役務の履行能力を審査するために行うものが公募である。本件は1社のみ合格したため、随意契約を締結したが、複数社が合格した場合は、指名競争入札を行う。</p> <p>○ほかに条件を満たす業者が存在しないことを確認するため公示している。</p> <p>○見積合わせ前に案内し、契約時に確定している。</p>